

I 学校の概要

一 手良地区の沿革

1 手良地区の生い立ち

手良の地は早くから開け、奈良時代には諏訪郡弓良郷とよばれ、条里制を思わせる中坪、郷之坪などの地名がある。弓良郷の地名は福島遺跡にかけての広々とした平坦な地形から生まれたものと思われる。上伊那の中央にあって、江戸時代から明治維新まで幕府直轄の領地となっていた。

明治8年に、中坪村・野口村・下手良村・八手村・福島村の5ヶ村をあわせて沢岡村となり、その後14年に福島村を分離し、また18年には野口村・中坪村を沢岡村から分離している。

以来幾度かの変遷を経て、ついに明治22年4月に村政施行によって、中坪・野口・沢岡の3ヶ村を合併して手良村となった。その後、昭和29年4月1日に1町5ヶ村の合併により、伊那市の行政区となった。

2 手良の地形

手良の北東には、山々が南北に連なっており、高尾山と鉢伏山の峰が連なって扇状に開けており、段丘面となって美篤地区や東伊那地区、箕輪三日町に続いている。段丘面では、六道原・地神原・下原・大塚等の平地を造り、火山灰土の土質である。耕地は、水田301.32ha、畑82.38ha(令和2年4月現在)となっている。

明治11年まで村有であった沢山国有地より流れ出る河川は、手良の重要な水源となり、棚沢川・瀬沢川となって天竜川に注いでいる。

3 立地条件

南向きの河岸段丘上にあり、日当たり良く造林と牧草に適し、かつては薪炭と採草に利用されていた。一方村内に通ずる道路は、北は卯の木を経て木下に、東は美篤地区の笠原を経て高遠に通じている。バスの便は、伊那市内を起点として郷ノ坪までの手良線が日に3本運行していて、他町村との連絡道路として経済文化の交流に寄与してきた。

4 産業

手良の世帯数は800戸、人口は2160人(令和3年1月1日現在)である。その大部分が兼業農家である。立地条件からして、かつては養蚕を主産業として、薪炭出稼ぎ等の副収入を得ていたが、戦後養蚕業の不振からこれに代わる産業として、酪農を取り入れ、全村一丸となって努力した結果、昭和25年には農林省指定の有畜農村経営のモデル村として、県下第二の実績をあげた。その他花卉栽培も盛んであったが、今は水田が中心になっている。

5 手良の気質

区民の気質は素朴であり、その中に品位を保って自尊心強く、協力一致の団結心に燃えている。

また、かつての教育村として、その伝統を誇りつつ、師弟の教育に深い理解と協力が続けられている。

6 有名な人

昔から教育に対する熱意が盛んで、明治の時代になってからも教育を尊重する風潮が益々高まり、明治の中期には、向山栄之助・宮原源太郎亮先生の教育的熱意によって、幾多の人材を生んだ。

政治家としては、元イタリア大使松島 肇氏、元山形県知事三澤寛一四、工学界で向山幹夫工

学博士、医学界でも海野幸胤医学博士、また県教育委員長松島 鑑氏、教育会の元老、元飯田・上田中学校長春日賢一郎氏の逸材を生んでいる。

また、他村から赴任した小笠原未蔵・林八十司両先生も先人の意志を受け継ぎ、手良教育振興のために精魂を打ち込まれ、今日の手良教育の基を築かれた。

また、平成4年には向山光昭博士が文化功労者として受賞された。

二 学校の沿革

- 明治 5年(1872) 学制発布。下手良十王堂に青年を集めて教育を行った。
- 6年(1873) 東光庵(中坪)に野口と中坪の子ども集め、蟹澤庄七郎氏と小松九郎右衛門が教えた。
- 7年(1874) 下手良・八ツ手では真宗寺にと実誠学校を開く。後に向垣外の登内寅之助氏宅に移った。
- 8年(1875) 野口・中坪は野口の千手院に移り、勸智学校と称す。
- 9年 実誠学校は八下学校と改称して、下手良辻に移った。勸智学校は野中学校と改称した。
- 17年 八下学校は沢岡学校と改称し、野中学校は東沢岡学校と改称した。
- 19年4月 沢岡学校を本校として、東沢岡学校を支校とした。
- 22年4月 手良村誕生。沢岡村、野口村、中坪村の三か村が合併。
- 22年5月 手良尋常小学校となり、支校はそのまま置いた。
- 23年 本校と支校が統合され、校舎を下手良堀之内に移した。
- 25年5月 組合立上伊那高等小学校 手良分教場を併置した。
- 31年4月 組合立は解散し、手良尋常小学校と改称した。教師は12名になった。この年より修学旅行が始まった。
- 32年4月 学校林創置、各部落共有地(大原・宮湖入り・八幡山・原の上)の四箇所に、計6反5畝を借り、4月15・17日の両日、生徒によって4200本を植林した。
- 34年 従来からあった裁縫専修科と夜学会を併せて手良実業補修学校を設置した。実業補修学校が農工補修学校と改称され、5年制となった。保護者が開かれた。
- 45年 現在地に新校舎が落成し、全てが新校舎に移った。
- 大正 2年 校舎に消防用の池を作った。当時の学級編制は、尋常科目8・高等科2だった。
- 6年3月25日 新校舎に電灯が架設された。
- 10年 奉安殿が新築された。また、校舎の増築が行われた。尋常科の修学旅行がこの年から行われた。直江津港へ。
- 昭和 3年10月 両陛下の御真影が下賜され、8日奉戴式が挙行された。15日に校庭に忠魂碑が建てられた。
- 4年 この年から高等科生徒の西駒登山が行われた。
- 13年 平屋校舎の東へ校舎増築が村会によって提案された。
- 14年 4教室(2階建て)増築に着手し、12月11日棟上式が行われた。
- 15年 桑の皮むき、どんぐり拾い、ストーブの薪だしなど、この年から児童も戦争への協力を強く要求された。
- 16年4月 手良尋常高等小学校が手良国民学校となった。
- 19年 学童疎開が始まり、手良では東京世田谷の中里国民学校の児童50人余を受け入れた。児童は常光寺と無量寺に分宿して学校に通った。
- 19年7月10日 電話が新設された。
- 20年8月15日 終戦となった。食糧事情が悪く、昼食を持ってこないものが多くなり、昼食をと

- りに家へ自由に帰した。
- 11月10日 疎開児童 46 名が帰った。
- 22年 4月 新制中学校が誕生し、手良小学校と手良中学校が併設された。
- 23年 3月23日 手良青年学校の廃校式が行われた。
- 4月 1日 手良小学校 PTA 創立総会が開かれた。
- 11月 6日 週 5 日制となり、28年 5月まで続けられた。
- 25年 10月 手良小学校・手良中学校の徽章ができた。
- 26年 12月 5日 学校給食が始まった。
- 29年 4月 手良村が伊那市に合併し、伊那市立手良小学校と改称した。
- 35年 11月 26日 学校水道の起工式が行われ、36年 4月完了した。手良小中学校の水道水に野口鳥宮湧水を引く工事が村民総出で行われた。
- 36年 3月 35年度卒業記念として柱時計が贈られた。
- 37年 3月 36年度卒業記念として白牛の像が贈られた。
- 9月 プール起工式が行われ、12月完成した。
- 37年 11月 手良小学校校歌が制定された。
- 38年 3月 37年度卒業記念として校歌横額が贈られた。
- 39年 3月 手良中学校の東部中統合により、現在地に、手良小学校のみとなった。
- 38年度卒業記念品として国旗掲揚塔が贈られた。
- 40年 中学校校舎を取り払い、観察池・岩石園等を造った。
- 3月 39年度卒業記念として天幕が贈られた。
- 41年 3月 40年度卒業記念として学校位置碑が贈られた。
- 42年 3月 41年度卒業記念として校歌の精神をあらわす碑が贈られた。
- 43年 3月 42年度卒業記念として方位盤が贈られた。
- 44年 3月 43年度卒業記念としてロータリー石庭が贈られた。
- 48年 手良小学校の校旗ができた。
- 50年 8月 学校無人化により、宿日直が全廃された。
- 51年 2月 25日 西幅 厚氏の寄付により、各教室にカラーテレビが設置された。
- 52年 7月 19日 学校改築第一期工事が始まった。
- 53年 1月 23日 新校舎の引き取り検査があり、24日から使用開始となった。
- 10月 12日 校舎改築第二期工事が完成、引き取り検査、使用開始となった。
- 54年 5~6月 環境整備事業として造園（花壇・ロータリー・噴水池等）が行われた。
- 7月 23日 ブロンズ像「きよらか」が設置された。
- 12月 24日 国旗掲揚塔が設置された。
- 55年 3月 23日 校舎竣工落成記念式典・祝賀会が開催された。
- 3月 54年度卒業記念として姿見が贈られた。
- 56年 3月 55年度卒業記念として紅白幕が贈られた。
- 57年 5~6月 プールのかさ上げ工事が行われた。
- 58年 3月 57年度卒業記念として瞳明るくの碑が贈られた。
- 59年 3月 58年度卒業記念として映写スクリーンが贈られた。
- 6月 4日 市営水道を学校専用水道と直結し、給食室のみ市営水道使用となった。
- 60年 3月 59年度卒業記念として校名碑が贈られた。
- 6月 26日 県道拡幅工事に伴う校庭整備作業が開始された。
- 7月 2日 登内英夫氏のマーチングバンド楽器一式寄贈により、トランペット鼓隊の楽器が揃えられた。

- 61年3月 60年度卒業記念として大時計が贈られた。
- 62年3月 61年度卒業記念として校歌の額が贈られた。
- 63年1月21日 体育館竣工式・祝賀会が行われた。
- 3月 62年度卒業記念として体育館に校章が贈られた。
- 5月26日 校庭南側土手西半分に防球フェンスが新設された。
- 平成元年3月 63年度卒業記念としてスポットライトが贈られた。
- 2年3月 元年度卒業記念としてテントが贈られた。
- 3年3月 2年度卒業記念としてテントが贈られた。
- 12月 大原農園の寄付によりステレオシステム・シンセサイザーが揃えられた。
- 4年3月 3年度卒業記念としてテントが贈られた。
- 5年3月 4年度卒業記念としてテント・児童会歌横額が贈られた。
- 4月 母親文庫へのPTA全戸加入が決まった。
- 7月 向山光昭先生講演会が行われる。翌年「素直さと明るさと情熱を」の碑が建立された。
- 6年3月 5年度卒業記念として卒業記念碑が贈られた。
- 7年3月 6年度卒業記念として演台が贈られた。
- 8年3月 7年度卒業記念として国際資料室展示ケースが贈られた。
- 3月 故片桐美智子様のご寄付により校内放送テレビ設備が整えられた。
- 12月 活性化促進会議・育成会・PTA等の協力で校庭へ桜成木11本を植えた。
- 9年3月 8年度卒業記念としてブライトヒーター・展示ケースが贈られた。
- 10年1月16日 70cmを越える積雪のため、ロータリーの大赤松が折れた。体育館屋根の雪が落下して、温室とウサギ小屋などが倒壊した。
- 3月 9年度卒業記念として校章旗が贈られた。
- 11年3月 10年度卒業記念として学校目標板浮き彫り大額が贈られた。
- 5月31日 手良全戸からの寄付による、「手良活性化ふれあい太鼓」を各地で発表した。
- 12年3月 11年度卒業記念として教室表示板・校内案内板が贈られた。
- 11月27日 学校水道が全面的に伊那市水道に移管された。
- 13年3月 12年度卒業記念としてスクリーンつき回転黒板が贈られた。
- 14年3月 13年度卒業記念として屋外大時計が贈られた。
- 4月1日 新教育課程が始まり、学校週5日制、総合的な学習の時間が始まった。
- 15年3月 14年度卒業記念として自作彫刻「仙丈ヶ岳」が贈られた。
- 3月31日 第38代 伊藤 良樹校長がご退職された。
- 4月1日 第39代 戸田 淳子校長がご着任された。
- 16年3月 15年度卒業記念として自作彫刻本棚が贈られた。
- 4月 学校教育目標「自らの課題・自らの考え・伝えあって創る」のもと、児童会では「めざせ！あいさつ世界一！」の目標の元で学校のみならず、地域にも挨拶の輪を広げるべく活動した。また、縦割り清掃に代表される縦割り班活動も充実させた。
- 17年3月 16年度卒業記念として紅白幕・自作彫刻保管箱が贈られた。
- 4月 「手良小学校で学んでよかったなあ」とどの子どもも思える学校にしていくために、「学びのある学校」「あいさつのある学校」「花のある学校」「共に生き思いやりのある学校」を目標にした。また目指す子ども像として集中力があり(人の言うことは一回で正確に聴く)主体的に生きる子ども(常に頭を働かせ自分の判断で行動する)を掲げた。

- 18年3月 体育館北に、「郷土室」が完成した。翌平成18年度より使用開始可となる。
17年度卒業記念品として校札が贈られた。
- 3月31日 第39代 戸田 淳子学校長がご退職された。
- 4月1日 第40代 植木行雄学校長がご着任された。
- 19年3月 18年度卒業記念品として花台が贈られた。
- 20年1月 校舎内トイレ・体育館トイレ・体育館外トイレ・プールトイレが全面改修された。
- 3月 校庭にブランコ、コンビネーション遊具が新しく設置された。
- 3月 19年度卒業記念品として、太鼓のバチ入れが贈られた。
- 4月1日 第41代 山口光学校長がご着任された。
- 4月7日 登内英夫様から寄贈していただいた遊具の遊具竣工式が行われた。
- 8月 落雷により自動火災報知設備の一部が破損したため、新設された。
- 12月 緊急地震速報受信機が導入され、合わせて電子チャイムが新設された。
- 1月 校庭南側の擁壁工事が西側半分行われた。
- 21年3月 20年度卒業記念品として、体育館大時計（木彫共同作品「入魂」）が贈られた。
- 4月1日 「新学習指導要領」実施に向けての移行期間1年目が始まった。
- 10月 校庭南側の擁壁工事第2期工事によりバックネット近くまで行われた。
- 22年3月 21年度卒業記念品として、応援用横断幕「ガンバレ手良っ子」1枚（木彫作品付 き収納箱）が贈られた。
- 3月31日 第41代 山口 光学校長がご退職された。
- 22年4月1日 第42代 柴田 惇学校長がご着任された。
- 6月 校庭南側の擁壁工事が終了した。
- 11月 卒業記念品は今年度から辞退することにした。
- 23年3月 ペレットストーブ8台が普通教室と音楽室に設置された。
- 6月 地デジ対応薄型TV9台設置。地デジアンテナ工事完了。
- 24年3月 第42代 柴田 惇学校長がご転任された。
プールの外タイル交換・改修が完成した。
- 24年4月1日 第43代 塩澤 誠学校長がご着任された。
- 7月～12月 校舎(体育館を除く)の耐震工事が行われ、完了した。伴って、バルコニー・屋根・外壁の一部の塗装、スタジオ・教具室・理科室等の雨漏り修理が行われた。
- 5月～ 年8回のノーメディアデーを初めて実施する。
- 11月10日 四者共催講演会を「手良地区講演会」とし、講師に作家の志茂田景樹さんをお招きし、地区全体から約200名の参加があった。
- 25年2月1日 1,2年生のみで行っていた「冬の自然に親しむ日」を廃止し、3～6年生で実施していた「冬のスポーツの日」を全校参加とし、スキー教室を実施した。
- 7月19日 中国から教育旅行団が来校し、交流と合同授業を行う。
- 10月9日 上伊那教育課程研究協議会小学校国語の授業会場として、授業を公開し研究会を持つ。
- 26年3月 プール北側フェンスの取替を行った。
- 3月31日 第43代 塩澤 誠学校長がご退職された。
- 4月1日 第44代 唐澤 孝則学校長がご着任された。
- 8月 校内電話設備を更新。子機に外線をつなげることができるようになった
- 27年3月 北原國人様(株式会社キタノヤ電器)より本校に折りたたみイス(100脚)と収納用台車(4台)を寄贈していただく。

28年2月	P T A資源物回収の収益金で、石油ファンヒーターを3台購入し、全ての普通教室に石油ファンヒーターが配置された。
9月4日	「伊那市総合防災訓練」に地域の方や保育園と参加。防災を学んだ。
10月12日	上伊那教育課程研究協議会特別支援教育の授業会場として、授業を公開し研究会を持つ。
29年1月21日	「P T A親子ふれあいトンカチ教室」が20周年を迎え、記念パンフレットの作成と記念掲示板を設置した。
3月	第44代 唐澤 孝則学校長がご退任された。
4月1日	第45代 齊藤 辰幸学校長がご着任された。
7月～	校舎棟雨漏り関連工事及び体育館非構造物耐震化工事・L E D化工事を行う。
11月	校舎廊下腰壁木質化工事が行われる。同時に4年生対象の木育授業を行う。
30年1月	P T A資源物回収の収益金で、体育館用ジェットヒーターを1台購入した。
5月	体育館西側土手修復工事が行われた。
6月	校地内の樹木伐採・剪定作業を行った。
31年1月	光回線化に伴う校内ネットワーク分離U T Mシステム改修工事を行った。
3月	教室への照明増設工事を行った（4教室分）
3月	P T A資源物回収の収益金で、一輪車(遊具)、いろはかるた、児童玄関マットを購入した。
令和元年5月～	エアコン設置工事が行われ、普通教室7・校長室・職員室・音楽室 にエアコンが設置された。
12月	P T A資源物回収の収益金で、ジェットヒーターを1台購入した。
3月3日	新型コロナウイルス感染予防対策による臨時休業に入る。
3月	放送室放送設備改修工事が行われる。
3月31日	第45代 齊藤 辰幸 学校長がご退任された。
2年4月1日	第46代 浜田 康敬 学校長がご着任された。
2年	新型コロナウイルス感染予防対策のため、新しい生活様式での学校生活を送る。運動会や音楽会などの行事は、感染対策をとって短縮した形で実施する。
3年1月	iPad が一人一台導入される。(実質利用は4月)
3年4月1日	日本学校歯科医会より令和3・4年度「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」の推進学校として委嘱を受ける。
4年2月	新型コロナウイルスまん延防止等重点措置が取られたことに伴い、授業参観は中止。オンラインによる学級懇談会が行われる。
4年10月27日	長野県教育委員会、長野県学校歯科医師会、長野県学校保健会主催による「第40回長野県学校歯科保健大会」が本校で開催。150名の参加者を迎え、歯と口の健康、食を通じた健康づくりなどの授業公開を全学年で行う。
5年3月31日	第46代 浜田 康敬 学校長がご退任された。
5年4月1日	第47代 佐々木 英明 学校長がご着任された。